

三菱・日立理科教室

- 1) 日時：平成 24 年 8 月 28 日（火）13：30～17：15
- 2) 場所：三菱重工組合会館 3 階大会議室（広島市西区観音新町 4-8-2）
- 3) 出席者：加藤副代表、荒木理事、鈴置理事、松本理事、小佐野理事
三菱：檜原総務課長、伊藤主任、高次、その他数名、
（ロボット関係）三菱神戸の関連会社の「リョウイン」がご担当
甲斐チーム長、原部、岡田、

4) 生徒人数、約 50 名

当初、64 名の予定でしたが、すこし、減少した

三菱さんの従業員の家庭は 14 名ぐらいとのことであった

5) 実施概要

9 時過ぎに会場に着き、荷物の確認をまず行った。スケジュールは、13：30 受付開始、14 時～15：30 が三菱、15：45～17：15 を日立理科クラブ担当となった。

午前中にクリップモーター工作を手伝っていただく方々にやり方を説明しながら工作をしてもらった。この講習を受けた方々に午後は 2 班を担当してもらい、4 班を理科クラブが担当した。

14 時に檜原課長の会社紹介から始まり、ロボット wakamaru についての説明をロボット関係のチームが行い、説明後子どもたちを順番にロボットの前に出させてロボットとの会話を行った。ロボットは、会話をするとともに握手をするなどの動作で子どもの会話へ応じていた。

三菱のロボットを使った授業の終了後、15 分間の休憩をとり、その後日立理科クラブの理科教室を下記により、実施した

- 1) 理科クラブの紹介
- 2) クリップモータ工作
- 3) コイルの不思議、コップスピーカ実験
- 4) 節電、電気の話、

クリップモーター工作の授業は 6 班に分かれ、各班に 1～2 名の指導員を付けて工作を実施した。初めは、形は出来上がっても廻らないものが多く、エナメル線の剥き方が悪いところを示して改善させ、全員がクリップモーターを廻らすことができた。

クリップモーターの完成後、コップスピーカー等電磁誘導や電磁石の実験をクイズを交えながらやり、子ども達は歓声を上げながら熱心に聞いていた。

実験後、節電についての話を行ったが、こちらは父兄の方々が熱心に耳を方受けていた。

教室終了後、三菱の方々から日立理科クラブの授業は面白く、また、基礎的なことがよくわかったと好評であった。



ポスター



会場風景 (広い会場)



ロボット教室説明



ロボット、子供とのふれあ



理科クラブ紹介



クリップモータ工作



コイルの不思議、コップスピーカなど



節電、電気の話